

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月1日  
東

上場会社名 トーソー株式会社 上場取引所  
 コード番号 5956 URL http://www.toso.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前川 圭二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 森木 圭子 (TEL) 03-3552-1211  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,846	0.0	43	△51.6	65	△37.7	27	△55.7
2022年3月期第1四半期	4,844	1.3	90	△42.2	105	△36.0	61	△39.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 251百万円(196.1%) 2022年3月期第1四半期 84百万円(△29.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	3.03	—
2022年3月期第1四半期	6.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	20,855	13,484	64.3	1,499.10
2022年3月期	20,502	13,278	64.5	1,476.41

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 13,420百万円 2022年3月期 13,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	3.1	600	△23.6	630	△23.6	420	△21.0	46.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	10,000,000株	2022年3月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,047,752株	2022年3月期	1,047,098株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	8,952,411株	2022年3月期1Q	8,931,024株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種取り組みやワクチン接種の促進等により、経済活動や行動の制限は徐々に緩和され、回復基調にて推移いたしました。しかしながら、ウクライナ情勢による世界的な原材料価格の高騰や為替変動など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ事業に関連の深い建設市場におきましては、前年に増加傾向にて推移していた新設住宅着工戸数、非住宅向けの建築着工床面積が再び減少傾向に転じ、取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような環境の下で、当社グループは「Vision2025」第2フェーズ（2020～2023年度）の3期目として、引き続き主力の住宅分野の深耕とあわせて、非住宅分野や海外事業、新規領域への営業活動を展開し、成長戦略を推進しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,846百万円（前年同期比0.0%増加）、営業利益は43百万円（前年同期比51.6%減少）、経常利益は65百万円（前年同期比37.7%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27百万円（前年同期比55.7%減少）となりました。

#### 〈経営者の視点による当期経営成績の認識および分析〉

売上高は、前年並み前年同期比0.0%増加となりました。宿泊施設を中心とした物件の減少により非住宅分野が伸び悩んだものの、住宅市場は前年並みに推移し、海外販売や福祉用品の販売が前年を上回ったことが影響しました。

売上総利益率は、42.7%と前年同期を下回りました（前年同期は43.0%）。資材ロスの低減や、生産工程の見直しなどの原価低減に努めましたが、世界的な原材料価格の高騰や為替変動が影響しました。引き続き原価低減については、「Vision2025」の重点施策として継続的に取り組みを推進していきます。

販売費及び一般管理費は、新製品の発売や展示会の開催に伴う販売促進関連費用が増加し、前年同期比1.7%増加となりました。

営業外損益全体では、役員保険解約返戻金の発生等により21百万円の利益（前年同期比46.3%増加）となりました。

当社では、2016年4月より経営ビジョン「Vision2025」をスタートさせており、2020年4月からは、その実現を目指す「Vision2025」第2フェーズ中期経営計画（2020～2023年度）を始動し、3つの重点施策（新しい企業価値創造、成長戦略の推進、強固な経営基盤の再整備）を推進しています。

当第1四半期連結累計期間では、海外事業の強化や新規領域（ステッキ等福祉用品）等成長戦略分野で一定の成果が得られましたが、為替変動や原材料価格高騰の影響を大きく受けました。今後も新型コロナウイルス感染症の影響や中長期的な住宅市場の漸減傾向は続くと考えられ、さらなる高収益体質への転換に向けた取り組みとあわせて一層の成長戦略（非住宅分野、海外事業、新規領域）の推進が必要と認識しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (室内装飾関連事業)

室内装飾関連事業においては、カーテンレール等新製品を中心とした展示会「トソーウインドウファッションフェア」を3年ぶりとなるリアル会場で5月より開催しました。また、6月にプリーツスクリーンの新製品を発売し営業活動を強化したものの、非住宅分野を中心に売上が伸び悩み、売上高は4,726百万円（前年同期比0.3%減少）となりました。セグメント利益については、上記展示会や新製品発売等に関する営業活動費用の増加等が影響し、34百万円（前年同期比58.3%減少）となりました。

#### (その他)

その他の事業では、ステッキやシルバーカー等の福祉用品の販売活動や原価低減等を推進しました。段階的な経済活動の再開や介護卸関連企業への販売活動を強化したこと等により、売上高は119百万円（前年同期比16.8%増加）、セグメント利益は8百万円（前年同期比35.6%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産については、受取手形及び売掛金の減少があったものの、現金及び預金、電子記録債権の増加により、前連結会計年度末と比較して353百万円(1.7%)増加し、20,855百万円となりました。

負債については、未払費用の減少があったものの、借入金等の増加により、前連結会計年度末と比較して147百万円(2.0%)増加し、7,370百万円となりました。

純資産については、繰延ヘッジ損益が増加したことにより、前連結会計年度末と比較して206百万円(1.6%)増加し、13,484百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は、現金及び預金や電子記録債権の増加により流動比率は251.4%(前期末246.3%)となっております。また自己資本比率は、64.3%(前期末64.5%)となっております。健全性を維持しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,064,582	4,369,635
受取手形及び売掛金	4,582,903	3,902,719
電子記録債権	2,805,477	3,024,190
商品及び製品	1,283,302	1,415,510
仕掛品	236,596	271,840
原材料及び貯蔵品	1,785,579	1,947,127
その他	614,832	917,613
貸倒引当金	△6,370	△5,909
流動資産合計	15,366,905	15,842,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,290,792	5,330,880
減価償却累計額	△4,464,136	△4,506,129
建物及び構築物(純額)	826,655	824,750
機械装置及び運搬具	3,858,315	3,931,050
減価償却累計額	△3,346,966	△3,439,104
機械装置及び運搬具(純額)	511,349	491,946
工具、器具及び備品	4,320,395	4,355,477
減価償却累計額	△4,121,935	△4,152,797
工具、器具及び備品(純額)	198,459	202,680
土地	1,217,906	1,217,906
リース資産	210,405	205,201
減価償却累計額	△159,320	△164,304
リース資産(純額)	51,085	40,896
使用権資産	43,642	38,821
建設仮勘定	44,314	37,161
有形固定資産合計	2,893,411	2,854,163
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	581,459	566,026
長期貸付金	361	22,985
退職給付に係る資産	834,506	769,268
繰延税金資産	102,016	101,433
その他	410,043	403,684
貸倒引当金	△4,118	△4,125
投資その他の資産合計	1,924,269	1,859,272
固定資産合計	5,135,129	5,013,023
資産合計	20,502,034	20,855,751

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	872,899	877,491
電子記録債務	1,831,135	1,866,329
短期借入金	1,276,020	1,622,410
1年内返済予定の長期借入金	474,500	343,750
リース債務	62,480	62,657
未払金	618,247	485,278
未払費用	541,618	341,584
未払法人税等	151,871	40,458
その他	409,325	662,947
流動負債合計	6,238,098	6,302,907
固定負債		
長期借入金	40,000	40,000
長期リース債務	40,720	25,397
繰延税金負債	192,805	271,806
退職給付に係る負債	360,288	375,686
資産除去債務	131,255	131,511
その他	220,245	223,453
固定負債合計	985,315	1,067,855
負債合計	7,223,413	7,370,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,170,000	1,170,000
資本剰余金	1,348,960	1,348,913
利益剰余金	10,539,140	10,521,513
自己株式	△485,454	△485,757
株主資本合計	12,572,646	12,554,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192,677	179,683
繰延ヘッジ損益	262,471	477,628
為替換算調整勘定	43,057	120,910
退職給付に係る調整累計額	147,265	87,408
その他の包括利益累計額合計	645,471	865,632
非支配株主持分	60,503	64,686
純資産合計	13,278,620	13,484,988
負債純資産合計	20,502,034	20,855,751

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	4,844,012	4,846,107
売上原価	2,763,351	2,777,533
売上総利益	2,080,660	2,068,574
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	435,381	431,625
広告宣伝費	93,985	126,000
販売促進費	61,190	82,859
役員報酬	24,248	28,252
従業員給料及び手当	596,180	603,778
従業員賞与	132,596	88,528
退職給付費用	19,359	19,064
福利厚生費	150,039	154,776
減価償却費	80,645	48,083
賃借料	122,992	123,605
旅費及び交通費	65,513	76,154
研究開発費	4,599	4,477
その他	203,782	237,710
販売費及び一般管理費合計	1,990,515	2,024,916
営業利益	90,144	43,658
営業外収益		
受取利息	2,140	2,015
受取配当金	9,424	8,660
スクラップ売却益	2,815	2,757
為替差益	4,284	2,389
保険解約返戻金	-	8,061
その他	3,199	5,406
営業外収益合計	21,864	29,290
営業外費用		
支払利息	5,869	7,197
その他	1,067	252
営業外費用合計	6,936	7,450
経常利益	105,071	65,498
特別利益		
固定資産売却益	741	13
投資有価証券売却益	1,630	-
特別利益合計	2,371	13
特別損失		
固定資産売却損	1,777	23
固定資産除却損	212	1,083
特別損失合計	1,990	1,106
税金等調整前四半期純利益	105,452	64,405
法人税、住民税及び事業税	16,460	15,795
法人税等調整額	29,082	19,367
法人税等合計	45,543	35,163
四半期純利益	59,909	29,242
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,374	2,104
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,284	27,138



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	59,909	29,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,879	△12,993
繰延ヘッジ損益	△18,895	215,157
為替換算調整勘定	72,813	79,909
退職給付に係る調整額	△10,015	△59,833
その他の包括利益合計	25,023	222,239
四半期包括利益	84,932	251,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,369	247,299
非支配株主に係る四半期包括利益	563	4,183

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。